昭和廿一年六月一日
（第三種郵便物認可）

いわき民報

製行所
いわき民報社
（平一八三番）地址平一町田町平
人行設金額
人刷印兼
己克輝千
日刊但月曜日を除く
定價一ヶ月五円一部二十二錢

木工建築設計請負
平土地住宅 有限會社
社長　正木昌次郎
平市田町　電二〇二番

交通公社いよ〳〵店開き
平驛派出鐵道案内所も併設
初代所長には友部前平驛長

驛の混雜防止と長距離旅行者の便利をはかるため、市當局では平驛の協力を求めて交通公社出張所開設に猛運動中だつたが、場所も二町目千代田産業會館に決定、一日から店開きすることに決定した、初代所長に平驛長友部弘勇氏（五六）が就任、驛派出鐵道案内所も同所に設けられるこれが開設に依り旅行者にとつては頗る便利で切符の入手難も緩和される譯で大きな期待がかけられてゐる、今后の運營について友部所長は語る

官僚的なところを拂拭して民主的にやつてゆきたい、いまのところ驛の待合室が迫く機構の變るまではとつても待つては居られないでせう案内所を設けて一般の利便につとめたいと想ふ、旅客遊地、切符の前賣り等も考慮して居るが旅行者の便をはかつての旅館經營も目論んでゐる、市發展の爲ならどんなことでもやつて見たいと想つてゐる

郡の供米四割三分
供米最終日の卅一日正午現在

早場米の供出期間は今日一日で終るが、大体晩稻地帶で割當量の少ない濱通りの中でも石城は六百四十石の割當に對し正午までの農業會支部に入つた郡内の成績は、三十二町村の中十三ケ町村、九百三十一俵の三百七十二石四斗で四十三パーセントの不振さであるが各村の成績は一番乘をした鹿島村が依然トップを切り三百七十五俵（供出割當の一三パーセント）で三阪澤渡の百八十七俵が之に次いで居る

（單位俵）

泉村三六、植田町五、山田村三二、錦村五〇、上遠野村一五、飯野村一五、高久村六〇、鹿島村三七五、永戸箕輪村一〇、澤渡三阪村一八七、神谷村一〇、上下小川村五、川前村一、合計九三一

甘藷供出は
桁外れの大量か

一方三十一日現在の甘藷の成績は食檢調査によると割當四萬八百二十俵に對して三萬四千七百俵の供出を見て居り、他が圍米を補ふ要もなくなつたわけだ

第一校用材
出荷懇請

復興委員會で決定

平市復興委員會は三十日召集、第一國民學校建築用材について協議の結果、先づ校材の供出を左の如く決定各營林署へ割當てると共に二日伊藤市長、永山市會副議長、小野復興課長、地木關係の瀧口豊氏等と共に各營林署を廳訪、實情を訴へて協力方を懇請する

平四〇〇石、浪江一五〇石、富岡木戸一五〇石、平木材業者（芦澤、長谷川、佐藤、瀧口）一二〇〇石

新憲法發布祝典
——郡下各町の記念行事は——

三日の憲法發布記念行事は各町村とも想ひ〳〵の計劃を急いでゐるが、町民体育大會をはじめ野球大會、講演會等が催され大賑ひを呈するものと豫想されてゐる、各町の催し左の通り

▼湯本町——午前九時から第一校庭で體育大會を開き、町内會對抗のリレー等も行ふ、當日は自治功勞者の表彰式も行ふ計劃

▼四倉町——午前八時から各國民學校で祝賀式を學行、同九時から國民學校で自治功勞者の表彰式を行ふ

▼植田町——午前八時から國民學校庭で祝賀式を學行、終つて町主催の町内對抗軟式野球大會を開く、この日を有意義あらしむべく學童からポスターを募り、全兒童をに記念品として鉛筆を贈る

▼江名町——午前九時から校庭で町民大會を開く

▼小名濱町——午前八時から各學校で祝賀式を學行、同九時から第一校庭で体育大會を開く、名士を招いての講演會も計劃してゐる

磐城方部勞組
青年協議大會

二十七日結成式を學げ磐城方部勞組青年協議會では五日午前十時から東配倶樂部に大會を開き今後の方針決定とともに各地區協議會の陣容を整へる

第二分團詰所
喞筒置場新設

兩平署へ火の見を

市警防委員會は三十一日午前十時から市長室に招集、常備消防部強化その他について協議した二萬圓を投じて第二分團詰所並喞筒置場を新築することに決定、また工費九千圓を投じ上平窪横山下平窪の兩地内に火見櫓を設けることゝした

炭礦勞務者大增募

主食增配の報と住宅難が如實に反映していまヤマの下山者が激增の傾向にあるので平勤勞署では冬將軍をまへに大增炭戰に備へて勞務者增募に躍起となつてゐる、十二月末まで東北各地に呼びかけ增募するが、割當二千九百四十五名で各炭礦別人員は左の如くとなつてゐる

▼常磐炭礦一、三二〇名、▼好間古河炭礦三三〇名、▼勿來大日本炭礦六七〇名、▼日曹赤井炭礦三〇名、▼隅田川炭礦四五名、▼上山田炭礦九〇名、▼黑田炭礦一〇名

いよ〳〵主食增配
今月は米七、藷二、麥一の割
輸送關係等から小刻み配給か

一日からいよ〳〵食糧の增配が實施される、待望の增配は必要量の三合配給は實現されずともあすから二合五勺が實施されるのだ、この增配がお臺所に現はれたときわれらの食生活は相當落着いてくるだらう、これに備へて配給陣の準備はどうか覗いてみた——

增配は食營の帳面にどうひゞくか、十月まで管内全部をくるめる程度の配給量は月一萬九千五升四回五十錢として五回八十五百俵程度で丸農通帳がなくなつたとは云へ炭礦の大消費地を控錢、一ケ月米代百七十五回五十錢の勘定となるわけで新回窮窟の折柄、ふところも痛むわけだ

七、さつま二、麥一の豫定でこれが實施されゝばお臺所はずつと樂なわけ、濱通りは供米不振と貨車不足で小刻み配給も免れぬ現狀にあるが、假りに夫婦二人、子供三人の五人家族とすればその米代は

夫　五十二歳（二合五勺）
妻　四十八歳（二合五勺）
娘　二十六歳（二合五勺）
〃　二十二歳（二合七勺）
息　十八歳　（二合七勺）

一日の配給量一升二合九勺で一升四回五十錢として五回八十五錢、一ケ月米代百七十五回五十錢の勘定となるわけで新回窮窟の折柄、ふところも痛むわけだ

榮えの交換嬢
仙遞局長から表彰

平局電話交換手根守きみ嬢（一八）はこの程浦島仙臺遞信局長より表彰された、話は戻つて去る九月二日の事電話交換業務に從事中電話回線並に電話器の不完全による雜音等のため不圓滑となつた、一方泉神奈川炭礦では東北地方商工局への重要報告なので困り切つてゐた、この要務を知るや機宜の措置に依り通信目的を達せしめ加入者をいたく感激をせたもの、吉川平局長もこの行爲に感激、金一封を贈ることゝし一日午前十時から局長室にこれが傳達式を學行する

貨車配給も
懇請

憤みの東部石炭

國鐵の常磐各炭礦に對する配車は桁をはづれて七、八十方貫供出が豫想されるとともに消費しきれずくさらすのではないかとの懸念さへ濃厚になつて來た

後任平驛長
富山氏（高萩）

二日に着任豫定

平驛長友部弘勇氏（五六）の交通公社出張所長就任に伴ふ后任驛長は高萩驛長富山盛壽氏（五三）の榮轉に決定二日着任の豫定

根守きみさん

暴露された
豐表の闇

平署俄然緊張

大活動を開始

平署では最近各地に出廻つた惡表の闇に不審を抱き去る二十九日市内五町目某商店主（五三）を召換、取調べを進る一方俄然大活動を開始した、事件は意外な点にまで發展するのではないかとみられ、内容は配給品をめぐつての大かゝりの横流しで不法は超過十數萬圓を上るものと傳へられてゐる

惡德農家の
よい標本

遂に關係者諸共

平署の槍玉へ

澤渡村大字中寺字宿豊太郎妻農鈴木リヨ（四六）は本年八月初旬から九月中旬までの間、同村字關所佐藤秀ほか三名に米五斗五升を一升五十圓から七十圓で賣り捌き不法利得三千百六圓余を得たこと發覺平署に檢擧された同人は田八反七畝を耕作、昨年辛いが、闇米買ひから考へると大助り、この際農民に感謝すると共に、增配にたゝ安心して備へを忘る勿れ

▼平局の根本きみさん、浦島仙臺遞局長から表彰さる、交換嬢がみな斯くあると非難もないのであるが——交換嬢の自愛を祈る

增募行脚終る

炭礦勞務者增募に東北各地を行脚してゐた平勤勞署大竹事務官常磐炭礦松繁正一、古河炭礦遊佐忠二、大日本炭礦常勞務課長等四氏一行は三十日豫定を了へ歸平した

何と二千六百萬圓
卅一日現在の回收舊圓

證紙附きの舊圓は三十一日限りで効力を失つたが、日銀代理店の三十一日現在における交換高は十圓七百萬百圓千九百五十萬計二千六百五十万圓に達した、鐵道及び百貨店關係等未整理の會社工場は二日まで期間が延期され交換される

いわき寸言

▼待望の交通公社いよ〳〵一日から店開き、驛派出案内所も併設されるばかりか初代所長には友部前平驛長就任、土地の事情を知るだけに市民の期待も大きい

▼一日から主食の增配、貨車の配車や供出關係から小刻みの配給は免れず、且つ米價の引上げで新圓生活の懐中にはチョツと辛いが、闇米買ひから考へると大助り、この際農民に感謝すると共に、增配にたゝ安心して備へを忘る勿れ

訂正

卅一日付一面〝價格票を忘り〟記事中りんご八貫匁其の他衣類三百十五点とあるは果實類等ほか二種八貫匁衣類三百十五点とあるはバグダンほか七種の誤りにつき訂正

女子事務員募集

本社平支社勤務女子事務員を左記により募集します

一、平市または徒歩で通勤できる地域に居住すること
二、高等女學校または女子專門學校卒業以上の學力あること
三、卅才未滿のこと

希望の方は履歴書をお送り下さい
試驗日を御通知いたします

平市田町一三
福島民報平支社

日本農業の展望と農民の任務

東大神谷慶一教官講演要旨

（下）

主穀は一時的な價格問題だけで左右されてはならない、價格は一時安くとも需要と言ふ点から言へば先づなんと言つても國内の需要でありそれは生活必需品であり生活必需品と言へば主穀である、生産物は直接生産物よりも加工的なものが恐慌に耐え得る、從つて酪農經營などは恐慌對策として最も理想的であるし安い輸入小麥が入つた場合でも國内産の米を喰つて小麥は飼料にして酪農經營をやりミルクをつくつて國外、國内の需要にあてゝ行くと言つた方法をとればいゝ、外國から原料を買ひこれを加工して賣ると言つた農業經營の基礎をよくつくつておくことが大事である、たゞ目先きの利益だけでは將來の農業は成立しない、これにはお互ひの力でこれをやることだ、日本の農業經營は世界的にみて全くお話にならぬ内職程度のものである、米國には六百万戸の農家戸數があるがこれには三エーカー（一エーカーは四反歩）以下の農家はのぞいてある、日本の農業は勞働的には集約的だが資本的には手の勞働であり粗放である、これでは到底世界的な農業經營とは太刀打ち出來ない、アメリカには夫婦二人きりで二百町歩から三百町歩の土地を耕作しているものがある、日本では小麥一反歩に二十日の勞働だが滿洲では四、五日、獨逸では三時間アメリカではトラクターで數分と言ふ速さである、これでは競爭にならない、共同經營、共同施設、共同作業と言ふことは前から言はれてゐるが民主々義下において、もう一度新しい目で見、考へねばならない、たとへば村は行政組織の單位だが經濟組織では部落を單位にした共同組合を組織することが今後の問題である、さらに農村のリーダーの問題だが歴史的に言へば明治維新直後即ち明治初年から二十年頃までこれは靜岡地方のことで東北地方はこれより十年位遅れてゐると思ふがその頃のリーダーは大地主であつたゝそれに中小地主が參與して農村をひづぱつて來た、勿論これは小作料を上げるための指導だつたその後これは經營的な面だけが商工業者が登場して農村に進出、これとならんで産業組合が生れ、農林省が出來て地主のやつたことをやつて現在に至つてゐる、そのリーダーが今度はひつくり返つたのである、今までのリーダーがリーダーでなくなつた、從つて必然的にリーダーが出來ねばならない、民主々義の原則から言つてもそうならねばならぬ、これを〝デモクラチツク、リーダー〟と言ふ、部落の人一人々々が苗作りのリーダー、野菜作りのリーダー、山のぼりのリーダーと言つた工合に各人がリーダーになること、かうして大勢の人がリーダーとなり力を出し合つて作り上げる社會を民主々義組織にするためにはお互ひが腹藏なく意見を發表し導くことである、文化の面から言へば詩とか歌とか言つた趣味が農村に入て來るのも一つの手段である、部落の人々の酒宴など、しだらないものでないものならこれも良い集りである、必ずしも文化と言へば映畫とか演劇に限つたものではなくしかもこれを外からもつて來ると言ふのではなく勤勞を通じて人生理想をつくつて行く、そう言つた意味の文化の出現が望ましいまゝでの文化は外來文化だつたが、これからはみんなの生活の中から文化をつくりあげねばならない、今後の農村はそんな氣持ちでみんな力を合はせ平和な明るい民主的な村をつくりあげねばならない

開放

投書を歓迎す
要望批判結構
紙上可匿名

オリオン座賛成

▲……平市民のことごとくが住宅難一点張りより『オリオン座』建設に反對してゐる事を聞く時小生平の一市民として甚だ殘念に思ふ者であります

▲……成程住宅難で鶏小屋の樣な部屋や他人の小さな部屋に何組も住んで居る人もあるでせう然し家がないとて道路に住んでゐる人があるでせうか斯、云ふ私も六疊部屋に三人暮しの獨身者であります

▲……然し今『オリオン座』建設に反對し此れが成功したとて何時驛前に夫れに變る住宅が建つでせうか、今平市にはそちらこちらに家が新築されつゝありますす『オリオン座』完成の頃は相當住宅難も緩和される事と思ひます

▲……それよりか平市一大發展の爲喜んで賛成する可きではないでせうか今平市を歩いて見て之れが濱通り第一の都市だと考へた時平市民なら誰もが赤面するでせう

▲……成程今平には新しい二つの映畫館が完成に近づきつゝあります、然し映畫に行つた事の如くに明るい街と化した、とこある人なら判るでせう何時何處の映畫館に行つても席のすいてゐる時があるでせうか、何故か平市民だけ觀るなら成程四つで澤山でせう

▲……近く平小鐵道も出來平驛も移轉されると聽く、此の時で住宅難に泣く人の心を察しつゝ『オリオン座』建設に賛成する平の一市民であります

（南町山田生）

▼……成程住宅難で鶏小屋の樣な部屋や他人の小さな部屋に何組も住んで居る人もあるでせう

▼……成程今平には新しい二つの映畫館が完成に近づきつゝあります、然し映畫に行つた事の如くに明るい街と化した、とこ會あたりでもこの問題は取上げてみて貰ひたいものと思ふ

（田町F生）

▼……いつの間にか又戰時中同樣暗い道に逆戻りしてしまつた箇所がそこゝに見受けられる

▼……さきに東北配電が市民へのサービスとして街燈の電球盗難除けとして配線の中間の高所に取付け、市内は生れかはつた如くに明るい街と化した、とこ會あたりでもこの問題は取上げてみて貰ひたいものと思ふ

▼……かうしたことは市民お互が公德心を重んじ、明るい平市の建設のために、万一電球が切れたら各自の區内會で補充することか何か考へたらどうであらうか？

▼……暗と犯罪とはつきものである、各自が愉快な生活を樂しむ上からは是非明るいことが大切なのである、街燈問題位といふ勿れ、そして街燈の保護と補充を考へやうではないか？市常

電球の失はれたところもあるし又切れてしまつてゐるところもある

▼……かうしたことは市民お互が公德心を重んじ、明るい平市の建設のために、万一電球が切れたら各自の區内會で補充することか何か考へたらどうであらうか？

▼……暗と犯罪とはつきものである、各自が愉快な生活を樂しむ上からは是非明るいことが大切なのである、街燈問題位といふ勿れ、そして街燈の保護と補充を考へやうではないか？市常會あたりでもこの問題は取上げてみて貰ひたいものと思ふ

（田町F生）

活潑な貯蓄戰展開

素晴しい平局の郵便年金

平局では九、十兩月を郵便年金強調期間と銘打つて各方面の協力をもとめ全市に展開したが、二十八日現在の成績は目標五十六萬圓に對して九十三萬余圓と云ふ金字塔を打樹てた、尚十一二兩月展開される復興貯蓄運動の目標も百五十万圓と決定、定額貯金及び郵便年金に主力を注ぎ各方面に呼びかけて活潑なる貯蓄戰を展開することに決した

嬉しい悲鳴

振ふ遞信相談所

今春店開きした平局遞信相談所

驛前の
いづみやは
どんな品をどんなに
安く賣つてゐるか
是非一度御覽下さい
電三四八番

豫算指導會

石城地方事務所では左記日割で各町村庶務主任の參集をもとめ原作はコーネリア・オティス。スキナー。とエミリイ。キムブロウの共著、脚本はシエリダン・ギブニー撮影はセオドア。スパーク演出は新進ルウイス・アレン主演はゲイル・ラツセル、エミリイのはからひで仲直りする、然し又二人の間に邪魔が入る。そのためアヴエリイは約束の晩餐に行かれず、會へぬ中にコーネリア達はパリに出發する。パリでも娘達の赤毛布振りを遺憾なく發揮して、偶々見物に來たノートルダム寺院の堵外に閉出された一夜を寺院の塔上に過す。

翌朝二人は馬車屋の毛布を下着の上に着て、ホテルへ歸つて來る。偶然スキナーの友達が娘達を探しに來てゐるのに出會ふが、これを丁度心配して會ひに來たアヴエリイとトムとに出會誤解した青年達は二人のフランス人達を毆る。そこへスキナー夫妻が來て驚く。珍しい經驗を味つてコーネリアとエミリイはアヴエリイとトムに再會の日を約してアメリカへ向ふ

石城地方事務所では甘藷四十七萬貫の割當を受けたので、二十四日來各町村當局との個別折衝に當り着々進めてゐたが、二十八日甘藷の各町村割當を決定割當た

收獲豫想百十九萬二千余貫で當初の供出可能見込六十萬貫とあり農村の現狀から…て供出完遂樂々といふところ、各町村割當左の通り（單位貫）

泉五〇、四八〇、渡邊五、八八〇、植田一〇、〇〇〇、山田村二七、六七六、錦町二五八三〇、勿來町三三、五九六上遠野一〇、八〇〇、入遠野八、八九〇、川部一三、四〇〇、田人二二、九〇〇、飯野二、八一〇、夏井九、〇四〇高久一五、二八八、豊間一三二〇〇、江名八、六五〇、鹿島四、〇〇〇小名濱二四、三六、磐崎村八、六四〇、湯本町一、〇〇〇、内郷町一、〇〇〇好間村四、二八四、赤井村一四、二五〇、永戸鉾輪二、一八〇、澤渡三阪三、四〇〇、神谷一、八〇〇、草野二一、八六〇、大浦村五一、七〇〇、四倉町三、七二〇、大野村八、七六〇、上下小川一〇、〇八〇、川前一、四一〇　計四十七万貫

映畫紹介
パラマウント社作品
桃色の旅行鞄
内郷第二ワイキ上映中

一時預り品金融

平市大町二七若松病院東横澤花

荷入新時計
◎……掛時計
◎……置時計
◎……腕時計
眼鏡、時計、萬年筆修理販賣
ライター、喫煙用具
長い間御不自由をさせましたが漸く準備が整いましたから是非御來店下さい。
平市驛前銀座通り
誠光堂時計店

寫眞の御用は
新裝のスタヂオが皆樣をお待ちして居ります
小名濱町本町
助川寫眞スタヂオ

女從業員大募集
小名濱カフエー
さよう
電一三三番

トロリー式機
パーマネント
平市田町銀座通り
メイ美容室
◎メイ化粧品部◎
▽經驗者未經驗者若干名急募△